

「笑顔」と「まごころ」あふれる病院

Smile & Heart

特集

よりそう

人生をかけた直腸がん治療

ReBORN | うまれかわる 新病院のコンセプト／より良い医療を、より心地よく
イベント情報 | あつまる 地域医療連携 | つながる

みつわ会 | ささえる 病院を支えるボランティア



特集

人生をかけた直腸がん治療

患者の決断を支え、手術支援ロボット「ダビンチ」を操る外科医の覚悟

2019年春、一人の医師が9年ぶりに戻ってきた。手術支援ロボット「ダビンチ」に熟練した山川雄士。
患者の人生がかかった直腸がんとの闘いは、術前から始まっている。

排尿や排便など、生活に大きく影響する直腸がん手術 患者と医師の二人三脚は初診のときから

「朝起きてから寝るまで、どんな1日を過ごしているか、教えていただけますか」「これだけは続けたいという趣味やスポーツはありますか」

消化器外科 医長の山川雄士医師は、当院で手術を受けることになった患者に必ずそう尋ねる。山川医師が主に執刀する「直腸がん」は、手術を受けることで生活が大きく変化する場合があります。

直腸がんは、大腸のうち肛門から15cmほどの部分にできるがん。この直腸の周囲には、排尿や生殖(男性の勃起、射精)に関わる神経が密集しており、がんの場所や大きさ、深さによっては、手術の際に神経を切らなければならない。がんを完全に切除し根治性を追求すれば、これ

らの機能を損なうリスクが大きくなる。

また、がんの場所によっては、手術の際に肛門周囲の筋肉にメスを入れることもある。その場合、患者は自分の肛門を残すか、腹部に人工肛門をつくるかの選択を迫られる。山川医師はこれらを「直腸には人生がかかっている」と表現する。

直腸がんを治療する長い道のりは、患者と主治医の二人三脚で歩いていく。

「健康診断やかかりつけ医からの紹介で当院を初めて訪れる患者さんは、『がんかもしれない』と不安と緊張でいっぱいだと思います。よく来てくれました、任せてくださいという気持ちで、お話しさせていただきます」

ただ一つの答えはない

じっくり話し合い、術後の生活をイメージしてもらう

直腸がんの治療はその特性上、ただ一つの答えというものはない。がんのある場所や大きさ・深さ、患者の生活習慣や希望、そして、根治性と術後の機能性のバランス。それらに応じた、完全な“オーダーメイド”だ。山川医師は、じっくり話を聞き、術後に起こり得ることを丁寧に説明し、対話を通じてその患者にとって最適だと思える答えと一緒に探していく。

例えば、自動車を長距離運転する仕事に就いている40代の男性患者。当初は、「人工肛門にはしたくない」と話していたが、直腸がんの場所や大きさから、手術で肛門周囲の筋肉の一部を切り取る必要があった。山川医師は、肛門を残した場合、うまく便意をこらえられなくなり、1日に7、8回、排便のためにトイレに行かなければならなくなること、トイレに間に合わず便失禁を起こす可能性もあることを説明した。一方、人工肛門をつくれば、においを気にする必要もないことも説明した。男性は最終的に、人工肛門をつくることを選んだ。退院後、自分で人工肛門のケアをしながら、手術前と同じように仕事を続けているという。

「手術を受ける前に、術後の生活をしっかりイメージしてもらいます。何よりも患者さんご自身に納得してもらうことが大事。誰にも代われない、患者さんの人生ですから」

山川医師は、患者の決断を後押しすること、そして、その後押しに責任を持つことも、医師の仕事だと言い切る。常に「自分がこの患者さんだったら」という気持ちで、患者の理解度や心境に合わせ、オーダーメイドの説明をする。



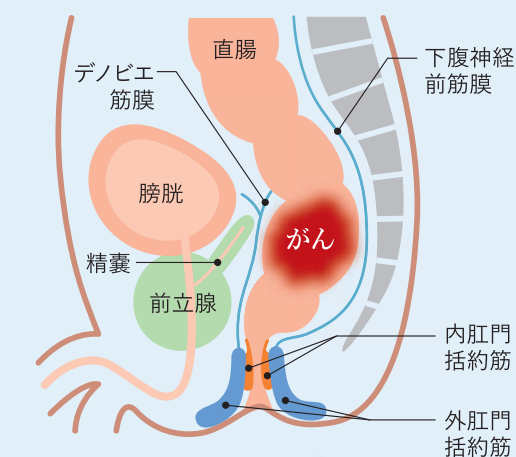
退院後の負担・不安を減らすため、入院中からしっかりサポート

about rectal cancer

直腸がんの手術は “オーダーメイド”

直腸の周りには、排尿、排便、生殖を担う神経や筋肉が密集している。これらは、人の尊厳に関わる重要な機能だ。直腸がんの手術は、それらの機能が損なわれるリスクを伴う。そのため、手術はすべてオーダーメイド。誰一人として同じではない。がんの場所や大きさ・深さ、患者の生活習慣や希望、そして根治性と機能性のバランス——。患者の話をじっくり聞き、納得できるまでとことん話し合う。

直腸の側面図



消化器外科、内視鏡外科
医長 山川 雄士



ロボット「ダビンチ」で 一人でも多くに 安心・安全な手術を

患者にとことん向き合う山川医師のもう一つの強みは、「ダビンチXi」というロボットを使った直腸がん手術だ。2005年に医師免許取得後、トヨタ記念病院で5年間の研修医生活を経て、直腸がんのダビンチ手術のパイオニアである静岡がんセンターで9年間、研鑽を積んだ。同センターで50症例以上を執刀し、直腸がんのダビンチ手術の「指導医」資格を取得。2019年4月に当院に戻ってきた。現在、全国の病院にダビンチ手術を普及させるべく月に数回、指導に出向いている。

遠方からわざわざ訪ねてくる患者も多いがん専門病院と異なり、当院の患者の大半は昔からこの地域で暮らす



人々。「突然がんを宣告されて、どこにかかったらよいのか、これからどんな生活になるのかも分からず、目の前が真っ暗になっている患者さん。そんな患者さんを助けたくて、トヨタに戻ってきました」と山川医師は話す。

ダビンチ手術が得意とするのは、臓器や血管、神経がひしめき合う狭い骨盤の中でも可能な繊細なメスさばき。コントローラーで操作するロボットアームの先端は、人間の指よりも細かく動かせるので、血管や神経を傷つけるリスクを低減できると期待される。実際、直腸がんのダビンチ手術は、開腹手術や通常の腹腔鏡手術に比べて、術後の性機能障害や排尿障害が起これにくかった

との研究結果も報告されているという。トヨタ記念病院に戻ってきてまもなく1年、山川医師を中心に直腸がんのダビンチ手術の実績は着実に上がっており、これまで30例が行われた。また、当院では直腸がん以外にも、前立腺がんや腎がん、胃がん、膣式子宮全摘に対するダビンチ手術を保険診療で行っている(2020年3月現在)。

「自分にしか助けられない患者さんがきっといるはず」。山川医師は、市民公開講座を開いたり、地域のかかりつけ医を訪問したりして、直腸がんのダビンチ手術という方法を広く知ってもらい、不安や絶望を抱える直腸がん患者に一人でも多く手を差し伸べようと奔走する。

「もし術後、『こんなはずじゃなかった』と患者さんがおっしゃったら、それは主治医との信頼関係ができていなかったことにほかなりません。やっぱり患者さんから聞きたいのは、『手術を受けてよかった』という言葉。そのために、これからもしっかり患者さんと向き合って、患者さんが自分らしく人生を歩むお手伝いをしていきます」

患者の人生がかかった直腸がんの治療に、山川医師は人生をかけて挑み続けている。



多職種一丸となって手術に臨む

about of da Vinci

手術支援ロボット 「ダビンチ」の仕組み

ダビンチ手術は、ロボットアームを遠隔操作して行う。まず、おなかに小さな穴を開けて、ロボットアームの先端についたカメラや鉗子を入れる。執刀医はコンソールユニットをのぞき込み、そこに映し出された拡大画像を見ながらコントローラーを操作する。

当院におけるダビンチ手術の実績

159件 30件 87件 17件

ダビンチ手術症例数 直腸がん 前立腺がん 腎がん

※2020年2月現在



ロボットアーム

モニター

コンソールユニット

先端は人の指のように滑らかに動く

助手や看護師はモニターを見ながらアームの向きを調整したり器具をセットする

3D画像を見ながら手元のコントローラーを操作

team

直腸がん患者を支えるチーム

一緒に病気と向き合います
外科 医師 伊東 剛

外科医として勉強中です。患者さまのお話をよく聞き、合併症を見逃さないよう注意しています。

安心を支える機器のメンテナンス

臨床工学技士 鐘江 敬志

医療機器の点検や管理のプロとして、わずかな違和感も見逃しません。安心・安全な手術を支えます。

その人らしい生活を支援します

皮膚・排泄ケア認定看護師 神谷 紀子

手術の説明から術後のケアまで。排泄障害や人工肛門のある患者さまが少しでも生活しやすいように外来・病棟看護師と連携し支援します。

リハビリで治療効果を最大限に

理学療法士 岩尾 繁

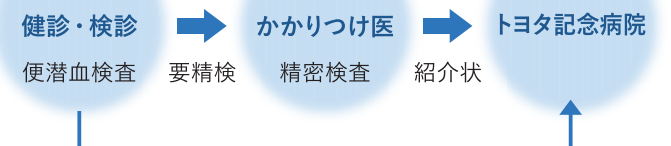
術前は合併症予防の呼吸訓練、術後は早期退院に向けた運動療法。継続をしっかりサポートします。

退院後の生活を見据えたケア

東病棟5階 看護師 近藤 亜樹

痛みのコントロールや洗髪・足浴など、離床に向けたケアを提供。患者さまに寄り添い、医師との橋渡しをします。

■ 直腸がんに関する診療の流れ



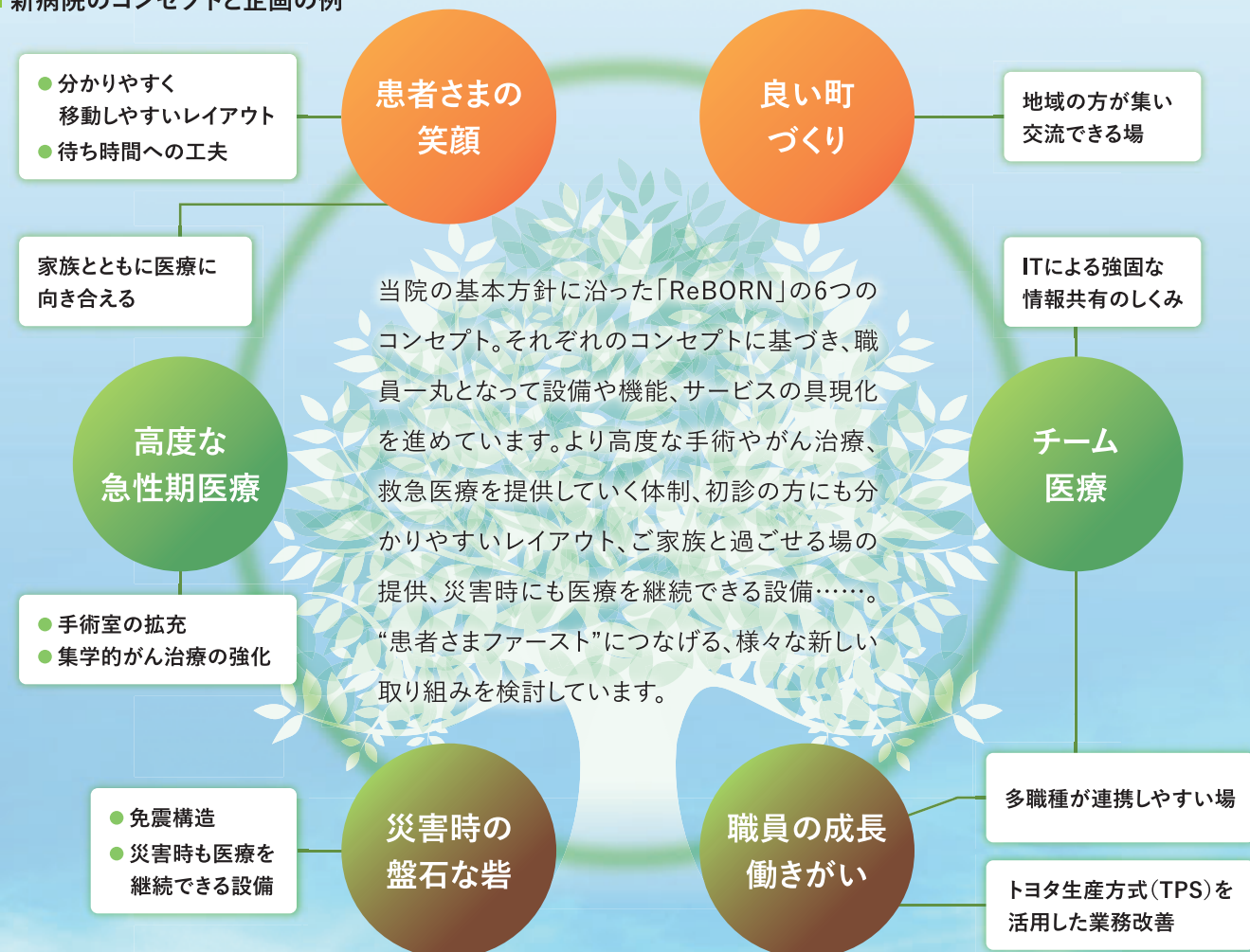
Vol.1 新病院のコンセプト

より良い医療を、より心地よく
地域とともに歩み続ける病院へ

新病院構築計画「ReBORN」を2022年度の竣工に向け、進めています。

このコーナーでは、患者さま、地域の皆さまにその進捗状況をお伝えしていきます。

■ 新病院のコンセプトと企画の例



掲載内容は2020年3月時点です。
今後の検討により変化していく可能性がございますことを
ご了承ください。

みつわ会 | ささえる



古新聞で作成したバスケットは、図書の受け渡しなどに使用。ソーイング班はリハビリ器具のサドルカバーや携帯用心電図モニターのポシェットなど、年間30種類超の用品を製作

病院を支えるボランティア「みつわ会」



トヨタ記念病院にボランティア
がいることをご存じでしょうか。

1991年設立のボランティア団体

「みつわ会」では現在、30代から80代

まで幅広い年齢層の地域の方80名が活躍しています。みつわ会という名前には、「患者さま」「病院」「ボランティア」の3つの輪が結ばれていることと、患者さまの健康回復への祈りが込められています。

活動は多岐にわたります。主な活動は患者さまのご案内

内です。1日約1,200人が受診する外来棟の玄関口に立ち、診察室や検査室へのご案内やお子さんの一時預かりなどをお手伝いしています。他にも、移動図書、ソーイング、生け花、園芸、患者さまのお話し相手など、様々な活動を展開しています。病院と患者さまや地域の方々のかけ橋となるよう、明るく、元気に笑顔で活動しています。トヨタ記念病院での受診・入院でお困りごとがあれば、みつわ会がお手伝いさせていただきます。一緒に活動する仲間も大募集中です。お気軽にお問い合わせください。

＼みつわ会の魅力／

- 自分のペースでできる
- 色々な活動に参加できて楽しい
- 気分転換になる
- 明るい仲間たちとの出会いがある
- 新しい自分が発見できる
- 病院内の様子を知ることができる

＼会員の皆様のお声／

～入会のきっかけは？～

退職後の居場所や
外出の機会を作れたかった

勤めていたトヨタへ
恩返ししようと思った

もともとボランティアに
興味があった

～病院ボランティアのやりがい？～

- 案内した患者さまから、「広い病院だと迷ってしまうので嬉しいですよ」と感謝された
- 移動図書で自分が選んだ本を借りてもらえると嬉しい
- お話し相手の活動で、患者さまから「待っていたのよ」と言われた
- 患者さまとお話しているうちに、表情がだんだん明るくなって嬉しかった

ボランティア「みつわ会」会員を募集しています。

【お問い合わせ】TEL 0565-24-7169 FAX 0565-24-7178(担当:吉田)

イベント情報 | あつまる



トヨタ記念病院では、医師・看護師による講演会や、理学療法士によるストレッチ教室、健康チェックなど、患者さまやご家族、地域の皆さまに参加いただけるイベントを多数企画しています。開催情報はホームページ(トップページ>新着情報>イベント)に掲載します。お気軽にご参加ください。



イベント情報



みうらクリニック岩津

毎年受けて安心できる内視鏡検査

院長による消化器内科では内視鏡検査(胃カメラ、大腸カメラ)に力を入れています。鎮静剤を使用するなどし、『二度と受けたくない検査』から『毎年受けて安心できる検査』へ」をスローガンに丁寧な検査を心がけています。

また、副院長による循環器内科(現在は木、金曜の午前中のみ)では、胸の痛みや息切れ・動悸のほか、生活習慣病にも対応しています。ホルター心電図、超音波検査、動脈硬化検査(CAVI)などが可能です。病気や治療について患者さまご自身がよく理解し、向き合えるよう、分かりやすい説明を心がけています。また、最新の治療の勉強も怠らず、質の高い医療を還元します。



院長 三浦 眞之祐 副院長 三浦 絢子

【住所】〒444-2144 岡崎市岩津町於御所172

【電話番号】0564-66-8787

【診療科目】内科、消化器内科、循環器内科

【診療時間】9:00~12:00 16:00~18:30

【休診日】月曜、水曜午後、土曜午後、日曜、祝日

とよた西町クリニック

「すぐに」「ずっと」「幅広く」診療します

豊田市駅前の石川整形外科を義父より継承し、2019年7月に開院しました。トヨタ記念病院で14年間、救急・総合診療に携わってきた経験を活かし、急な病気やけが、内科疾患から整形外科疾患まで幅広く診療しています。手術が必要な場合やスポーツ整形外科疾患、CTやMRIなど高度な画像検査を行う際はトヨタ記念病院と連携し、迅速かつ最適な診療を実現しています。診療では優しく、明るく、思いやりのある姿勢を心がけ、どんな些細なことでもご相談いただけるよう努めています。病気や検査、薬のことはもちろん、日常生活の注意点も丁寧に説明しています。



院長 榊原 吉治 副院長 榊原 江里子

【住所】〒471-0025 豊田市西町1丁目134 ウェストワンビル 2F

【電話番号】0565-35-2131

【診療科目】整形外科、内科、漢方内科

【診療時間】9:00~12:30 15:00~18:30

【休診日】木曜、土曜午後、日曜、祝日

はやしファミリークリニック

かぜや体の不調から循環器診療まで

2019年9月より、豊田市丸山町にクリニックを開院しました。ちょっとした体の不調でも気軽に相談できるクリニックを作りたい——そんな思いで医師になり、トヨタ記念病院で循環器内科医として外来診療やカテーテル手術に携わってきました。今後はかかりつけ医として、子供から高齢の方まで家族皆さまの健康を支える役割を担っていきたいと思います。これまでの経験を活かし、トヨタ記念病院とも密な連携が取れるのが当院の特徴です。幅広い内科疾患はもちろん、心電図や心エコー、CT、当日採血などにも対応しており、循環器疾患に関しては特に専門性の高い診療が可能です。



院長 林 和孝

【住所】〒471-0832 豊田市丸山町3丁目20-1

【電話番号】0565-74-0080

【診療科目】循環器内科、内科、小児科

【診療時間】9:00~12:30 16:00~18:30

【休診日】木曜午後、土曜午後、日曜、祝日

連携室からのお知らせ

かかりつけ医をお持ちですか？

トヨタ記念病院は専門的な検査や治療、入院・救急医療など、急性期医療を提供する「**地域医療支援病院**」です。当院での検査・治療を受けて病状が安定した患者さまには、近隣の開業医の先生をご紹介します。地域医療連携室は、皆様の「**かかりつけ医**」を探すお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。
トヨタ記念病院と連携している医療機関をホームページで検索できます。



医療機関
検索ページ

トヨタ記念病院 広報誌 *Smile & Heart*

2020年春号

2020年4月1日発行

発行：トヨタ記念病院 編集：トヨタ記念病院 人づくり・カイゼン推進本部 撮影：森田直希(表紙・特集[P2山川医師、P3、P4]) デザイン：文創社

〒471-8513 愛知県豊田市平和町1-1 TEL 0565-28-0100(代) <http://www.toyota-mh.jp/>

【予約センター】☎ 0120-489-587

【予約受付時間】当日受診予約 8:00~11:30 翌日以降予約(1カ月以内)は11:00~16:00 ※診察券をお持ちの方はお手元にご準備の上でお電話をおかけください。

【健診センター】TEL 0565-24-7153



トヨタ記念病院
ホームページ